



令和元年度 地方創生推進交付金事業 各事業詳細

1. **みらいの「みたけ人」育成推進事業**
2. **武将と歴史街道を核とした広域観光推進プロジェクト**
3. **「わくわく地方生活実現政策パッケージ」
における移住支援事業（仮・9月補正予定）**

1. みらいの「みたけ人」育成推進事業

■これまでの経過

年度	概要
平成28年度	地方創生加速化交付金を活用し「みたけ創生みらいの人材育成協議会」を整え、 <u>地域関係者が連携しさまざまな取組</u> を実施
平成29年度	前年の取組の結果を踏まえ、 <u>町が抱えるさまざまな課題の解決に取り組む人材の育成</u> を目標に掲げ、これまでの取組の継続、改善
平成30年度	地域との協働に重点を置き、 <u>地方創生に取り組む人材（立上げ団体等を含む。）の更なる自立・自走を促し</u> 、人材育成に資する事業を展開



令和元年度は、これまでの結果を基に、地方創生に取り組む人材（立上げ団体等を含む。）が本格的に自走し持続可能なものになるよう、組織の確立を目指す。

◎地域の多様な関係者が連携したプログラムを行い、実体験の中で知識・技能、他者と協働する力を育成する。

◎資金調達をする仕組みである「みんなのみたけファンディング活用サイト」の利用を促進し、地域の思い・夢が実現するまちづくりを進める。

◎宿場の町並みを活用して、町の地域資源の活用を推進する人材を発掘し、育成する。

◎地域課題解決型のキャリア教育を行い、将来の担い手確保や雇用対策、人材育成に取り組む。

No. 1

みたけ創生みらいの人材育成協議会等運営事業

「地元で働く」「地元を盛り上げる」をテーマに、地域の関係者が連携し、みたけ創生のための様々な取組みを行っていく「みたけ創生みらいの人材育成協議会」を平成28年度に設置し、様々な取組みを実施した。取り組んできた内容や課題を、協議会で情報共有し、実施内容のブラッシュアップ、一層の連携を充実させ、取組みを深化させる。



No. 2

地域課題解決型キャリア教育事業

《基本目標3》「しごと・経済が元気」

○施策1：産業・創業の振興と雇用の創出

高校生などの若者を対象に、「担い手」や「雇用」に対する地域課題解決のためのキャリア教育プログラムを実施し、町内企業就業につながっている。地域の「大人」との関わりから、地域や地元企業について自発的・積極的に学び、理解するまでの取組みを一層充実させ、ワークショップや就業体験を通じ、「地元で働く」ことを学び、理解する場の創出、またそのフォローアップとして地元で働く魅力を考えるきっかけとして企業展を行うことで、町内企業就業がよりいっそう進むことを目指す。

【新たな取組み（案）】

企業訪問に力を入れ、「働く」ことを若者が自分の目で感じ、強く意識させる。



No. 3

御嵩あかでんランド開催補助事業

《基本目標4》「モノ・コトが元気」

○施策2：まちのオリジナリティを活かした観光振興

地域課題の解決手法を学んだ住民主体の実行委員会組織による「名鉄広見線の魅力を高めるためのイベント」の開催にあたって企画・運営に係る補助を行うもの。補助金額が減額となる中、継続的な開催を目標に自主財源の確保に向けたオリジナル商品の開発（経営・資金確保）やSNSを活用した情報発信（広報）、クラウドファンディングや企業協賛金による資金調達を实践し、秋に4回目となるイベント「御嵩あかでんランド」を実現させる。

【新たな取組み（案）】
自己資金調達のためクラウドファンディングに挑戦



No. 4

みたけのええもん雇用創出事業

《基本目標4》「モノ・コトが元気」

○施策2：まちのオリジナリティを活かした観光振興

御嵩町の特産品「みたけのええもん」等を都市圏においてPR販売することで販路の拡大を進めるとともに、町内でのPR販売による認知度向上を図る。平成30年に発足した生産者組織「御嵩町特産品普及開発協議会」を中心に事業を展開し、自主運営の確立を目指す。

【新たな取組み（案）】

単なるPR販売だけでなく、定期的・定量的な販売が期待できる販路の拡大を目指す



No. 5

みんなのみたけファンディング活用事業

《基本目標3》「しごと・経済が元気」

○施策1：産業・創業の振興と雇用の創出

平成28年度、まちづくり活動のためとして「みんなのみたけクラウドファンディング」(サイト)構築されている。

「資金が無い」「自分だけでは…」等の理由により諦めてきたことがクラウドファンディングならできるかもしれないという住民意識の向上と、自らは挑戦しなくとも理解することで挑戦者への応援や提案事業の成功に繋がることを認識してもらおう。**身近な成功が「自らの挑戦」に派生していく**ようセミナー等を展開する。



各回所要50分 (申込期間)

あなたのやりたいことを実現しませんか？クラウドファンディングを活用した資金調達をお教えします！

クラウドファンディングセミナー

大手クラウドファンディング運営会社から講師をお招きして、実例を交えたクラウドファンディングのお話をさせていただきます。
少なくていいアイデア、許されたことなど、この機会にぜひチャレンジしてみませんか？みなさまのご参加をお待ちしています。

クラウドファンディング(CrowdFunding)とは？

群衆(Crowd)と資金調達(Funding)を組み合わせた造語で、クリエイターや起業家が商品・サービスの開発、もしくはアイデアの実現などの「ある目的」のために、インターネットを通じて不特定多数の人から資金の出資や協力を募ることをいいます。

クラウドファンディングの種類

- クラウドファンディング(寄付)
- クラウドファンディング(融資)
- クラウドファンディング(株)
- クラウドファンディング(商品)

企業家 情報リテラシー 支援者

10/26	第1回 10月26日(木) 19:00~20:30	「FAAVOでクラウドファンディングに挑戦」	講師: サーチフィールド(株)FAAVO マネージャー八木理義 氏 申込期間: 平成29年10月1日(日)~25日(水) 平日 9:00~17:00
11/16	第2回 11月16日(木) 19:00~20:30	「クラウドファンディングの実例を学び、成功者の生の声を聞く」	講師: タイムカプセル(株)相澤謙一郎、グスト講師 申込期間: 平成29年10月1日(日)~11月15日(水) 平日 9:00~17:00
11/30	第3回 11月30日(木) 19:00~20:30	「クラウドファンディングアイデアワークショップ」	講師: タイムカプセル(株)相澤謙一郎、グスト講師 申込期間: 平成29年10月1日(日)~11月29日(水) 平日 9:00~17:00
12/14	第4回 12月14日(木) 19:00~20:30	「クラウドファンディングに挑戦-実践-」	講師: タイムカプセル(株)相澤謙一郎、グスト講師 申込期間: 平成29年10月1日(日)~12月13日(水) 平日 9:00~17:00

場 所 御嵩町役場 北庁舎3階 大会議室 ※いづれか1日でも参加できます。

申込方法 氏名、住所、連絡先を記載し、タイムカプセル株式会社へ E-MAIL: info@timecapsuleinc.org
TEL: 058-214-9780 までご連絡ください。 ※タイムカプセル株式会社は御座りません。

お問い合わせ) 御嵩町役場企画課(自営業・月給) TEL: 0574-67-2111 E-MAIL: tyossei@town.mitake.lg.jp
みたけクラウドファンディングサイト: <https://mitake-gurashi.jp/crowdfunding/>

平成30年度 **3件の挑戦が成立** ※その他相談案件あり

No. 6

外部人材招聘事業

《基本目標1》「環境のまちで元気」



○施策1：環境モデル都市を進める人づくり・場づくり

園児や小学生、又は親子を対象として「読み聞かせ」を行う住民活動はあるものの、その手法や活動内容はまちまちである。幼い子や親子への「読み聞かせ」は、話す人や聴く人双方にとって地域とのつながりや地域を知るうえで大切であり、子どもの教育上重要である。そのための人材育成として「読み聞かせ講座」を実施し、「読み聞かせ」の人材充実とそれを聴く子どもや親子、保育・教育業界希望者などの地域参加を育む。



No.7

ITプログラミング人材育成事業

《基本目標2》「ひとが元気」



○施策2：子どもの「生きる力」を育む教育の充実

高校生などの若者を対象としたプログラミング講座を実施する。講座のひとつに地域を知るためのフィールドワークを設け、地域資源の発掘を図り、多世代間の交流、キャリア教育にも繋がるものである。地域人材の育成、定住の一手法として、現在最も伸び代のある産業の一つであるプログラミングを通じ、**オリジナルアプリの開発を通じて地元就業や地元起業のイメージを持ってもらう。**



【新たな取組み（案）】

過去の受講生の参画を促し、本年度の事業だけでなく過年事業のフォローアップも行う



No.8 環境教育事業

《基本目標1》「環境のまちで元気」

○施策1：環境モデル都市を進める人づくり・場づくり

御嵩町環境モデル都市行動計画は、「環境教育」を大きな柱として位置付けており、その一環として、北海道下川町（環境モデル都市選定自治体）において自然環境や生活文化への興味関心と醸成を目的に森林保全体験等を実施する。また、事後研修として資料作成や提案内容のまとめ等を行い、町環境フェア内で成果発表を行う。事後研修に重点を置くことで**個人の体験のみで終わることなく町全体の環境教育に波及、環境保全に関する啓発**の一端を担ってもらい、よりよい人材育成を目指す。

【新たな取り組み（案）】

地域住民との連携のほか、企業との協働による森林づくり参加企業との連携を目指す。



No.9

宿場まち人材育成事業

《基本目標4》「モノ・コトが元気」



○施策1：「みたけ暮らし」の価値の磨き上げによる住みたい、住み続けたい環境の整備

宿場まちの人材育成の具体策として「空き家」にスポットを当て、空き家の資源価値、利活用について再認識し、新たな出店を検討している方などを対象に、空き家の改修方法やスキームの検討、参加型の**空き家を改修するワークショップ**などを開催する。



【新たな取組み（案）】

- ・単なるDIYに止まらないように、改修箇所・物品の指定をせずに空き家全体の資源活用を展開できるようなワークショップの手法の検討
- ・伏見宿周辺における事業展開を検討



2. 武将と歴史街道を核とした広域観光推進プロジェクト

「基本目標4」 「モノ・コトが元気」

○施策2：まちのオリジナリティを活かした観光振興

観光振興

- ・観光プロモーションの促進
- ・特産品の魅力向上、販売組織の自立支援
- ・宿場まちの誘客（空き家活用推進）

大河ドラマを観光誘客に

大河ドラマ「麒麟がくる」 推進協議会

- ・ゆかりの地情報発信
- ・PRイベント
- ・講演会



- ・協議会運営に係る**負担金の支出**
- ・ゆかりの地（史跡）の**解説サイン等整備**

願興寺内において**可見才蔵**のサイン設置予定（当初予算措置済み）

3. 「わくわく地方生活実現政策パッケージ」における 移住支援事業

《基本目標4》「モノ・コトが元気」

○施策1：「みたけ暮らし」の価値の磨き上げによる住みたい、住み続けたい環境の整備

町の移住支援施策

- ・ポータルサイトの整備
- ・空き家バンク、空き家改修
- ・プロモーション活動（情報発信）

岐阜県生活わくわくパッケージ

- ・移住支援金制度
- ・起業支援
- ・就労希望とのマッチング（効果的な求人）

町で行ってきた移住支援施策による移住定住の推進に
県内経済の担い手確保、東京圏からの移住推進のエッセンスを加える